

令和3年HIRAKE ワーケーション・セミナー

全国ワーケーション動向 利用者、提供者の意向から紐解く

日本テレワーク協会
大沢 彰

企業にとっての「日本型ワーケーション」の効果

- あそびの本質である、面白いこと、失敗が許されること、安心して取り組めること、は創造の源であり、創造的な仕事にはあそびの要素が必要。
 - 松田恵示東京学芸大学 副学長／「遊び学」研究者。
- 合理化が進み、都会の職場であそびがないなら、地域の自然豊かで、NO密な環境で働けば、あそび心が生まれ、コミュニケーションが進み、笑顔になり、アイデアが膨らみ、新たな事業創造にもつながる。
- それが企業にとってワーケーションの持つ意味、本質と考える。
- ワーク+バケーションから、コミュニケーション、イノベーション、エデュケーション、クリエーション、デジタルトランスフォーメーションなどのエーションに広がる可能性を期待。
- あそびが苦手な日本人・企業がワーケーションに取り組むことは、日本経済が生み出す付加価値を高め、労働生産性を他の先進国レベルまで押し上げる施策となりうる。

NOT ONLY GAFA

社員のポテンシャルを最大限に引き出す最高の環境を提供



ニュージャージー州ベル研究所1962

Wikipediaより転載



アーカンソー州Walmart新本社2025予定

同社ホームページより転載

令和3年HIRAKEワーケーション・第一弾アンケートから

問1：所属先におけるワーケーションの検討状況は？

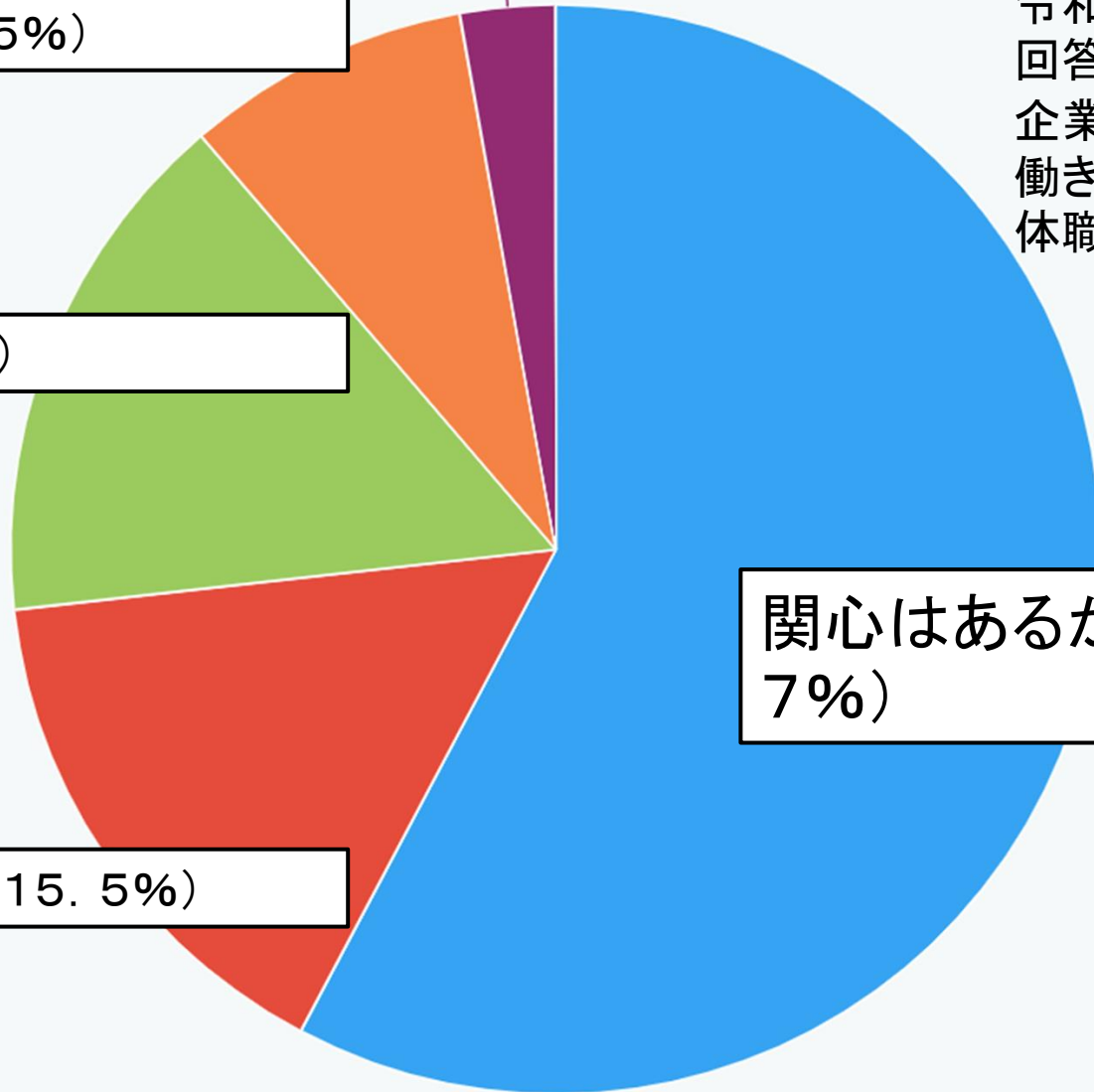
令和3年1月15日
回答者：71名
企業経営層、管理者層、人事・経営企画・
働き方改革・ダイバーシティ担当、地方自治
体職員

実施を計画中：6（8.5%）

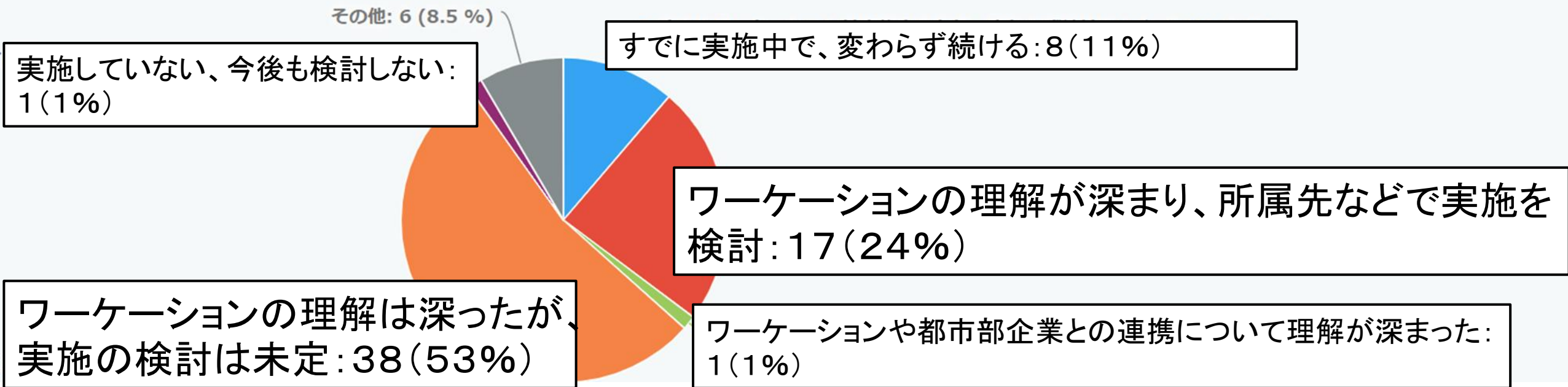
その他：11（15.5%）

すでに実施済み：11（15.5%）

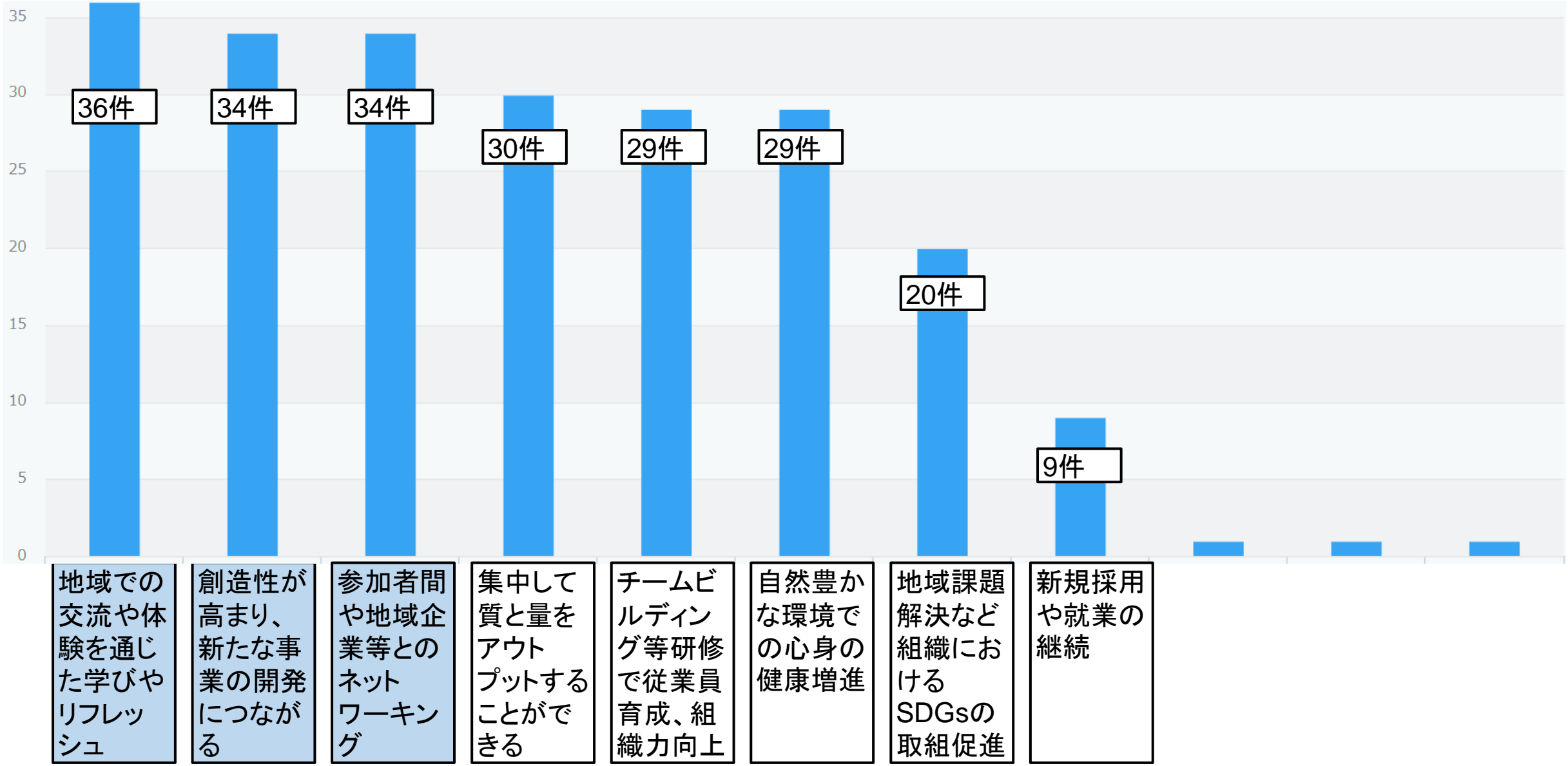
関心はあるが実施は未定：41（57.7%）



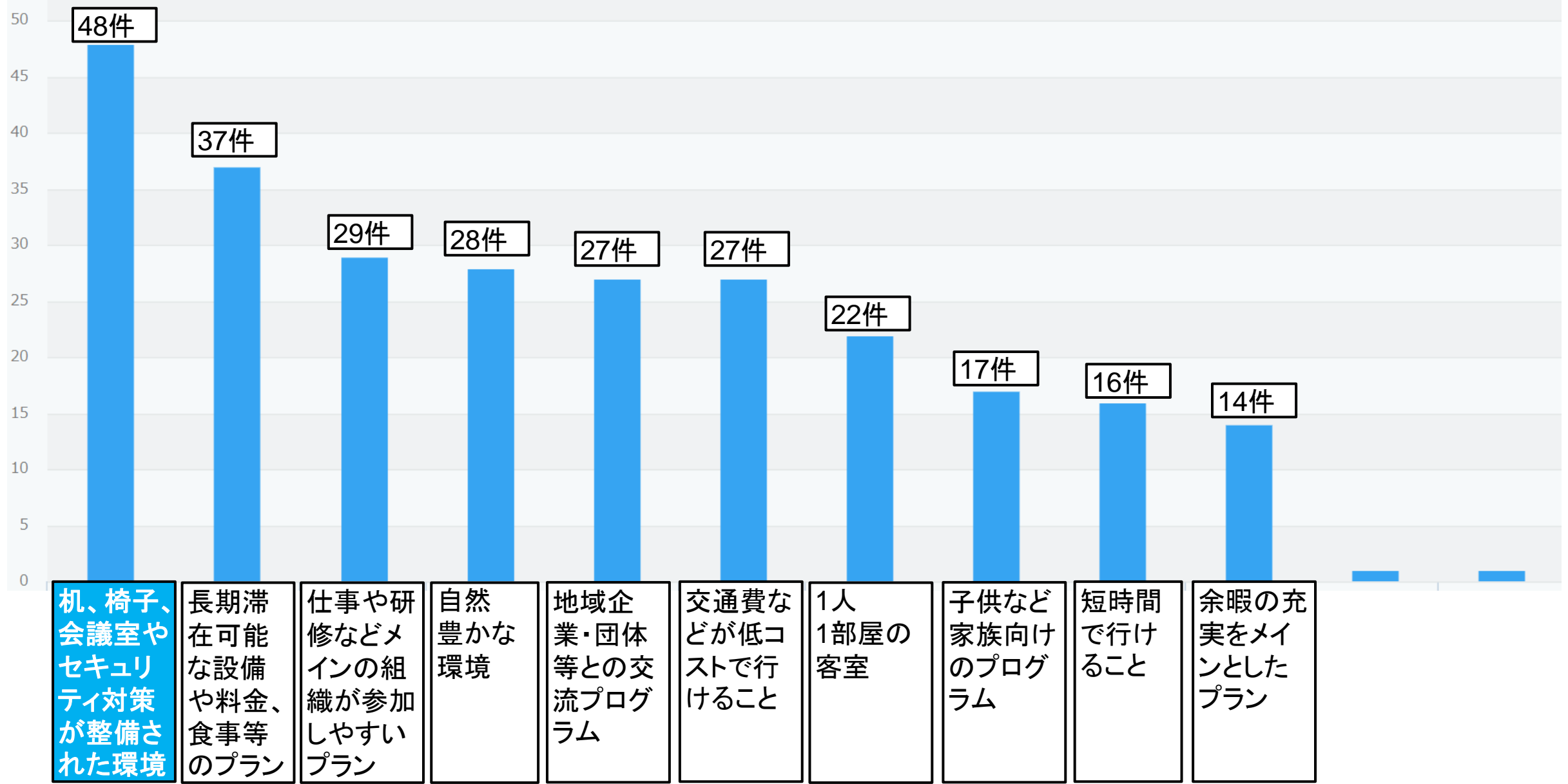
問2: 本セミナーに参加したことによるワーケーションへの考え方の変化は？



問3: 所属先等がワーケーションに期待する効果は？



問4: ワークーション先に期待することは？



問5: ワークーションを普及させることの意義は？

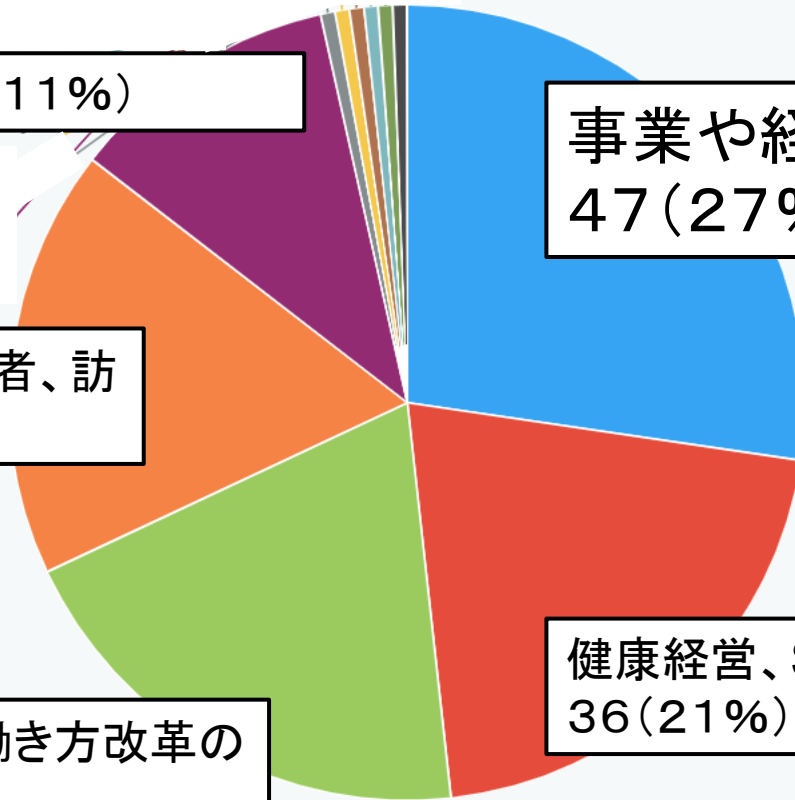
平日の実施による利用コストの低減: 19 (11%)

平日の利用による休暇取得の分散(利用者、訪問者の分散): 30 (17%)

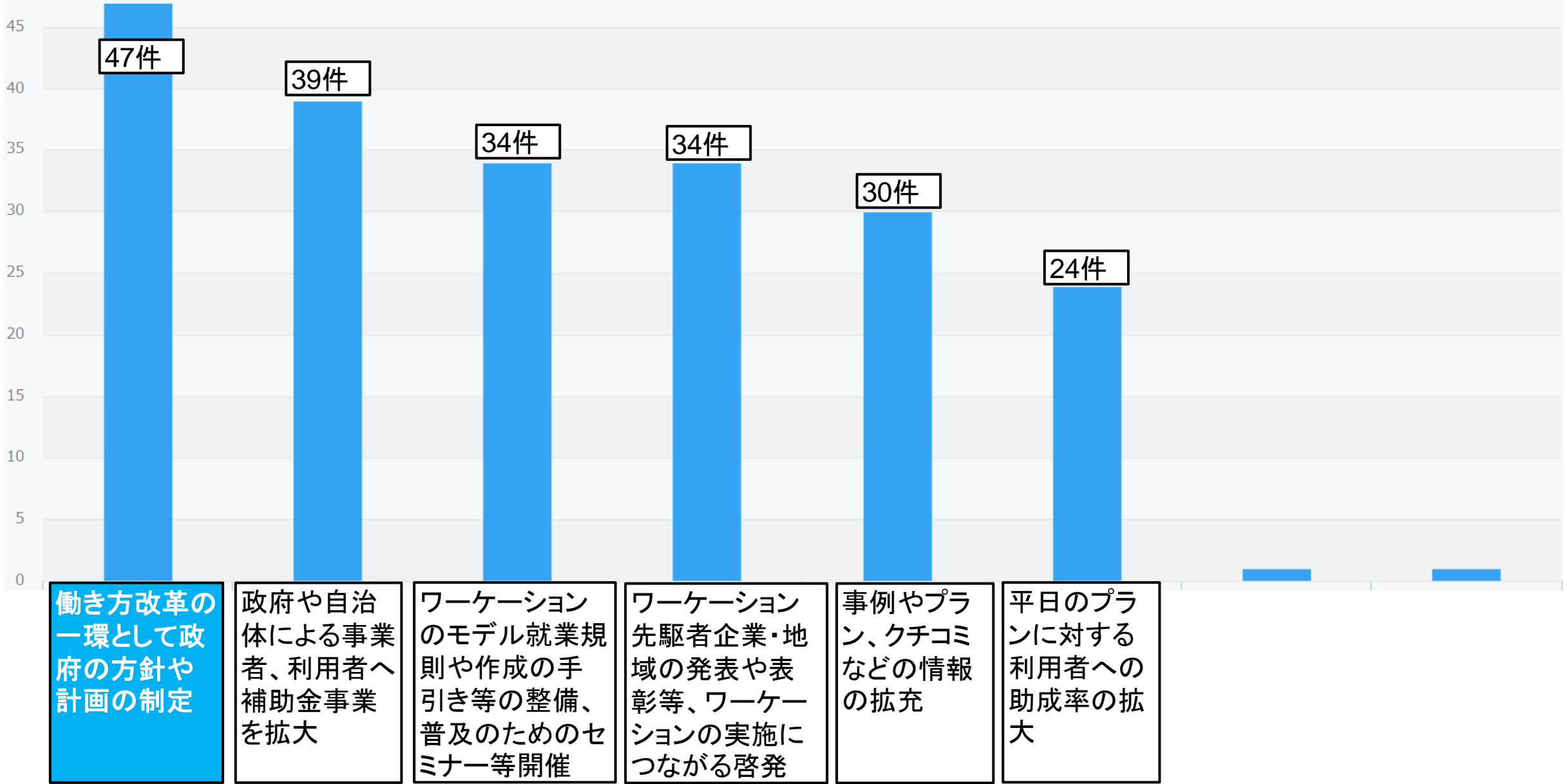
平日の利用者増による観光関連業界の働き方改革の推進: 34 (20%)

事業や経済の競争力強化:
47 (27%)

健康経営、SDGsに係る取り組みの強化:
36 (21%)

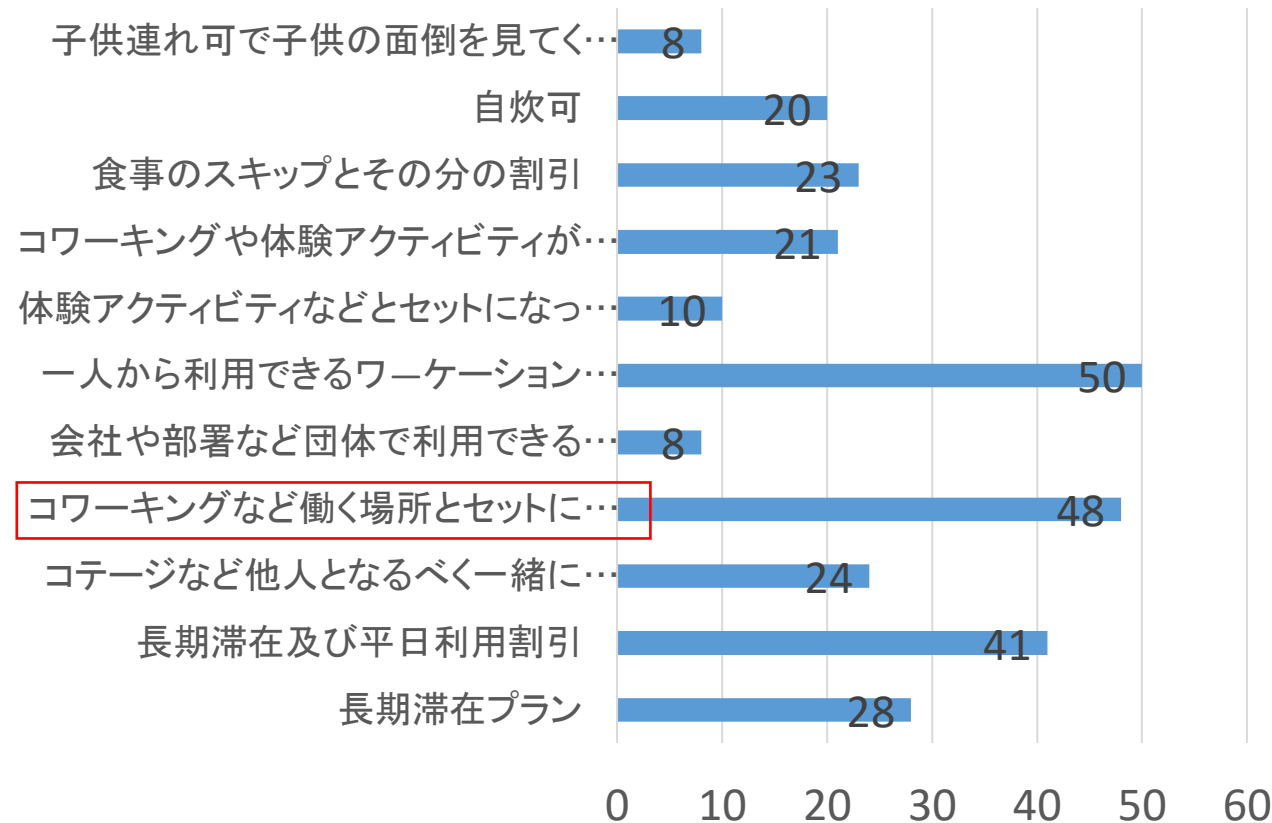


問6: ワークেশョンを普及させていくために必要な策は？

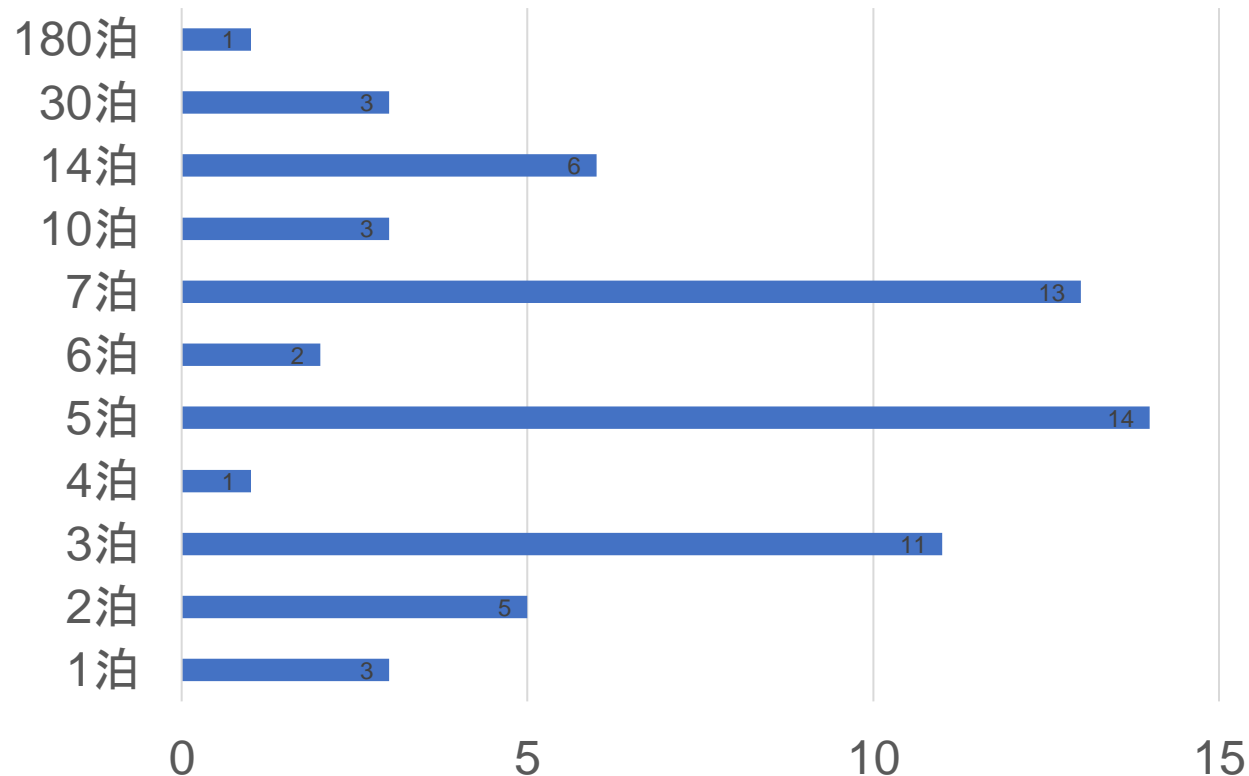


都心ワークスペース利用者のワーケーション意向（令和2年度長野県調査）

宿泊プランでぜひ欲しいもの



具体的な泊数



働く場所と
セット

5, 7, 3泊

アンケート実施期間

令和2年9月13日から10月7日

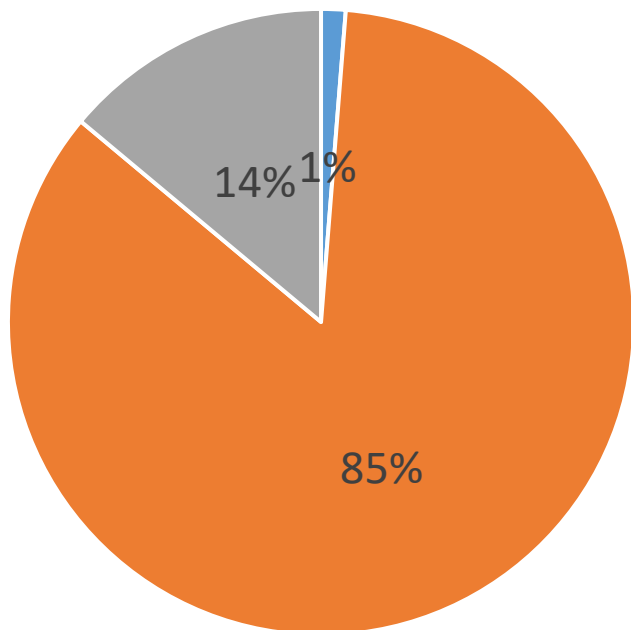
対象者：東京都心、近郊のコワーキング等
ワークスペース（商業施設）を利用者

回答数：80名

(名)

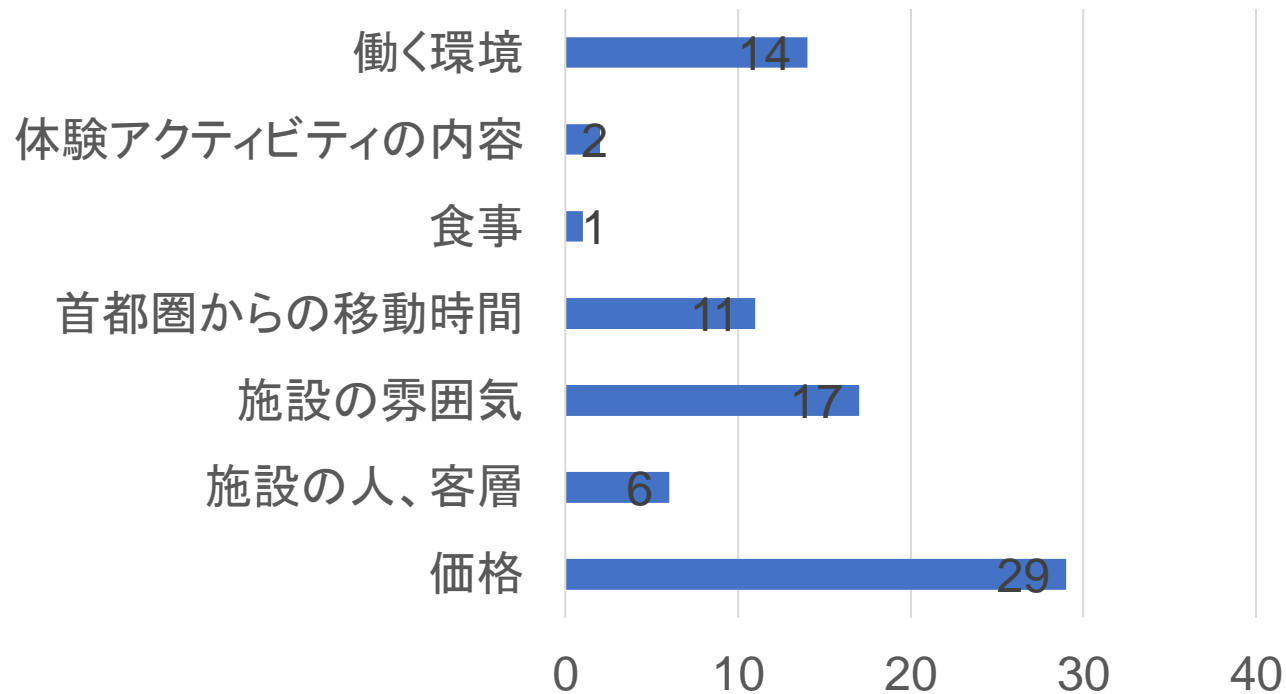
都心ワークスペース利用者のワーケーション意向（令和2年度長野県調査）

1泊あたりの希望料金



■ 4,000円 ■ 10,000円未満 ■ 10,000円～15,000円未満

ワーケーションで宿泊施設を選ぶ重要なポイント



1万円未満

働く環境 > 体験・食事

令和2年度長野県調査：信州リゾートテレワーク 宿泊施設対応状況調査票

長野県下30宿泊施設

1. 仕事(ワーク)と休暇(バケーション)を組み合わせた「ワーケーション」をご存じですか。(はい27)
2. ワケーションを目的とするワーカーの受入意向はございますか。(はい29)
3. 無料Wi-Fi整備の現状をお尋ねいたします。(共用回線26、専用回線5)
4. 貴施設内にワークスペースはございますか。(共用18、専用16)
5. フリードリンクサービスはございますか。(有12)
6. 1室1名利用の場合における、貴施設の客室情報についてお伺いいたします。(3500円から～60000円から。1万円以下が18)
7. 最寄りの駅など公共交通機関から貴施設まで送迎サービスはございますか。(有24)
8. ワーケーションをテーマとする旅行商品化に興味はございますか。(はい23)
9. ワケーション向けの宿泊プランを既に提供されていますか。(はい8)
10. 上記、検討中も場合も含めて、そのプランについて、働く場所を提供するうえでの差別化ポイントは何ですか？また何にしたいと考えていますか？
椅子机12、通信・システム9、交流6、その他10(気候・自然、FAX/印刷等)
11. 検討中の場合も含め、そのプランに関して、体験アクティビティを提供するうえでの差別化ポイントは何ですか？また何にしたいと考えていますか？
健康18、学び11、SDGs3、その他5(英語案内等)
12. その他リゾートテレワーク(ワーケーション)を普及させる上で、長野県に要望すること
勉強会セミナー10、宿泊プラン13、マッチング15、助成9
13. 自社ワーケーション(リゾートテレワーク)プランを提供するうえでの課題(複数回答可)
ノウハウ7、採算15、認知・需要11

テレワーク・ワーケーションに関する主な予算(R2補正、R3)

首相官邸HPより抜粋、編集

- 内閣府
 - 地方創生テレワーク交付金の創設:地方公共団体のサテライトオフィスの整備等:100億
- 総務省
 - セキュリティ水準を確保した中核市未満の自治体における、サテライトオフィスの整備に係る事業に対し助成:0.7億
- 農林水産省
 - 農泊推進事業、施設整備事業
- 国土交通省
 - 地方都市の中心市街地、観光等地域資源活用計画関連まちづくりの交付対象事業、既存ストック等を活用したまちなか、老朽ストックの活用等でのテレワーク・ワーケーション等拠点整備
- 観光庁
 - 企業と地域を対象としたワーケーションモデル事業や情報発信:5億
- 環境省
 - 国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進事業:30億

利用者、提供者の観点まとめ

■利用者

- ワーク+バケーションという意向もありつつ、自然豊かな環境でワークする意向も強い
 - 通信
 - 働く机と椅子
 - 場所とセット
- 政府でワーケーションへの取組み方針をとりまとめてもらいたい

■利用者から提供者へのフィードバック、提供者の懸念事項

- 1泊1万個室、移動2時間が目安となるラインか
- 5, 7, 3泊
- おひとりさま可
- 採算が取れるのか、需要があるのか心配

今後の方向性(働き方の観点)

ワーケーションは、健康を増進し、高い付加価値を生み出す、新しい「働き方」としての認知が高まりつつある(仕事型)。

一方で長めに休暇を取るため、旅先に仕事を持ち込むもの、との認識もある(休暇型)。

休暇に仕事は持ち込みたくない、遊びと仕事の切り分けがつきにくい、という意見もある。

企業・団体への普及を推進する上では、「新しい働き方」という認知を高め、「地域型テレワーク」と位置付け、「日本型ワーケーション」を推進してはどうか。

「地域型テレワーク(案)」

- 通常の働く場所(職場、自宅等)を離れ、交流、体験、学びなどを通じ、心身の健康を増進させ、高い付加価値を生み出す柔軟な働き方。

地域型テレワーク(ワーケーション等)の実施に係る懸案事項

今後の実施や検討にあたって、疑問点、意見等があれば終了後のアンケートでお聞かせください。政府関係組織に照会の上、回答をいただきたいと思います。回答は幣協会ホームページ(HIRAKE！ワーケーションページ)に掲載します。

【質問・意見例】

・ 労務管理関連

- 地域等での勤務については、テレワークに係る労務管理のガイドラインなどを参考にして管理すればいいのか？
- 勤務時間外に業務とは直接関係性のない活動の際発生した事故によるけがなどは労災保険の対象外でよろしいか。
- 会社が決定した地域での行事に参加した際けがをした場合には、業務とは関係なくても労災保険の対象にできるのか。

・ セキュリティ面

- 総務省等が示しているテレワーク時のセキュリティ要件を満たしたサテライトオフィス等をどうやって探せばいいのか。
- ISMS認証を取得している組織で地域型テレワークを導入する場合は、リスクアセスメント、対策などを見直して、再度認証を取得しなおす必要があるのか。

・ 導入メリット

- 健康経営優良法人の認定などで加点されるなど、導入企業が対外的に示せるメリットはないか。

・ 利用者への助成金

- 自治体等でのモデル事業ではなく、企業が単独でワーケーション等実施する場合の旅費、宿泊費、オフィス利用料などへの国からの助成はないのか。また複数の自治体による助成金制度について、全国横断的に比較できないか。

協会の取組み：地域との協働による普及促進活動

- ・ 北海道ワーケーションシンポジウム(1月)
- ・ 秋田県湯沢市トライアル実施(2月)
- ・ 愛媛県(南予地方局)ワーケーションセミナー講師(6月)
- ・ 岩手県八幡平DMOセミナー講師(8月)
- ・ 北海道ワーケーション会議(9月)
- ・ 福島県県北振興局セミナー講師(9月)
- ・ 宮崎県_※セミナー講師(9月)
- ・ 大分県別府市、豊後大野市現地アドバイス(10月)
- ・ 長野県奥志賀現地アドバイス(10月)
- ・ 八幡平DMO現地アドバイス(11月)
- ・ 京都府舞鶴DMO現地アドバイス(11月)
- ・ 北海道斜里現地アドバイス(11月)
- ・ 東京都式根島現地アドバイス(11月)
- ・ 長野県塩尻市現地アドバイス(11月)
- ・ 千葉県香取市佐原現地アドバイス(12月)
- ・ 愛媛県南予地方局現地アドバイス(12月)
- ・ 福岡県北九州市現地アドバイス(令和3年1月)
- ・ 長野県調査事業講演(令和3年1月)
- ・ 山形県大蔵村現地アドバイス(令和3年2、3月)

次はあなたの街で wa@japan-telework.or.jp